

全国学力・学習状況調査 結果概要

1 調査対象 令和5年度 6学年

2 調査実施日 令和5年4月18日（火）

3 学習状況調査結果の概要

【各教科の全体】

国語、算数とも全国平均を下回る結果となりましたが、前年度、前々年度と比べると改善傾向にありました。

【国語科の詳細】（数字は正答率を表しています）

学習指導要領の領域			全国	千葉県	本校	
	知識及び技能	①言葉の特徴や使い方		71.2	70.4	△
		②情報の扱いに関する事項		63.4	62.5	
		③我が国の言語文化に関する事項				
	思考力 判断力 表現力等	A話すこと・聞くこと		72.6	72.8	△
		B書くこと		26.7	24.0	○
		C読むこと		71.2	71.3	

○平均を上回ったもの △平均を5ポイント以上下回ったもの

「言葉の特徴や使い方」に関する問題と、「話すこと・聞くこと」に関する問題の回答率が他の項目と比べると大きく下回り、課題が見られました。一方で「書くこと」の項目で全国平均を上回り、昨年度取り組んだ「自分の考えを書く活動」の成果が表れていることが分かりました。

【算数科の詳細】（数字は正答率を表しています）

学習指導要領の領域	全国	千葉県	本校
A 数と計算	67.3	69.9	
B 図形	48.2	47.4	△
C 測定			
D 変化と関係	70.9	70.7	○
E データの活用	65.5	65.3	

○平均を上回ったもの △平均を5ポイント以上下回ったもの

「B 図形」については、昨年度、一昨年度も全国平均から低く、まだ課題があります。一方で、「D データの活用」においては、全国よりも高い正答率となりました。

【本校の傾向】

- 国語においては、全国、県と比べて無回答率が高くなりました。算数においては顕著な差はみられませんでした。児童質問紙からは、問題を解く時間が足りないという回答した児童が多く、後半の問題の無回答率に影響したと考えられます。
- 自分の考えを書く問題については全国よりも正答率が高く、昨年度の国語の学習で取り組んだ書く活動の成果といえます。しかし、複数の条件を満たして記述する問題においては、一部の条件しか満たしていない解答が多く、課題がみられました。
- 複数の計算を組み合わせる問題や、二次元の表を読み取るような問題でつまづく児童が多く、一方で、一問一答形式の問題については全国・県と比べても遜色ない結果となりました。
- 正答率の分布がきれいな山形とならず、平均値と中央値が一致していませんでした。児童の個々の学習到達度に合わせた課題や学習の取り組みが必要だと考えられます。

4 今回の結果を受けて

- 朝学習の時間や、今年度導入したタブレットでできるドリルを効果的に使い、漢字や語句、計算などの基礎的な知識の定着を図ります。
- 国語に限らず、話し方、聞き方の指導の指導を重点的に行い、様々な教科で児童が主体的に学習に取り組み、対話を通して学習していくよう授業改善を行っていきます。また、ICTにより、視覚にうったえたり、個々の課題に応じた課題の提供をしたりと、GIGAスクール構想の推進を行っていきます。

○学校図書館を様々な教科で活用したり、読書タイム、音読カードの取り組みとあわせて、年間を通して読書の量や質を高める活動を継続し、読解力を高める基礎を育てていきます。

5 生活習慣や学習状況等に関する調査結果より

【特に顕著な項目について】

○朝食や睡眠などの生活習慣の調査、家での学習時間等の学習習慣に関する調査ともに、高い評価値でした。

⇒健康や学力を支える基本的な部分ですので、今後もよろしくお願ひいたします。

○「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」という質問に対しては、「そう思う」「思う」と答えた児童で100パーセントとなりました。

⇒人権教育をはじめとした、児童への道徳教育の推進を今後も行っていきます。また、いじめアンケートの実施や聞き取りなどを計画的に行ったり、児童の相談しやすい環境整備を行ったりしています。何か気になる事案がありましたら、いつでも学校へご相談いただければと思います。

△「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の項目では、著しく評価値が低くなりました。

⇒コロナ禍も収束し、今年度様々な地域の行事が復活し、高三小としても様々な行事等に参加しました。来年度改善が見込まれる項目ですが、ご家庭においても積極的な地域活動へのご参加をよろしくお願ひします。

【クロス集計から】

*「クロス集計」とは、複数の項目を組み合わせるデータの傾向を分析する手法です。今回、国語、算数の正答率と、児童質問紙の回答類型をクロス集計し、分析しました。

正答率と相関の高かった質問事項		
13	自分と違う意見について考えるのは楽しいですか。	「楽しい」と答えた児童ほど、正答率が高い傾向が見られました。友達の意見や考えをよく聞きいたり、自分の意見を言ったりする対話のある学習を進めていきます。
32	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。	国語、算数ともに正答率と正の相関がみられました。上記項目と同じく、主体的で対話的な授業の実践を目指していきます。

1 6	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	「全く行っていない」と答えた児童の正答率が、他の回答の児童と比べても著しく低い傾向が出ました。学校だけでなく、家庭でも学習をすることや、「学習の仕方」を指導するように取り組んでいきます。また、宿題だけでなく、自主学習を進めていくよう、ご家庭でもご協力いただければと思います。
1 8	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれぐらいの時間、勉強していますか。	
3 7	学習した内容について、わかった点や、よくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。	
2 0	学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれぐらいの時間、読書を読みますか。	読書時間が長い児童ほど国語の正答率に正の相関がみられました。また「読書がすき」と答えた児童程、国語、算数ともに正の相関がみられました。 本が好きになるための様々な活動を年間を通じて行っています。本好きの子供が増えるようにこれからも取り組んでいきますので、ご家庭でも読書の励行をよろしくお願いします。
2 4	読書はすきですか。	